

令和5年度 非核都市宣言平和事業実行委員会  
第5回議事録（要旨）

日 時：9月1日（金）午後6：15～

会 場：かたらいの道市民スペース

出席者：委員 11名

（中里委員長、小餅副委員長、高橋（淳）委員、木川委員、牛田委員、  
木岡委員、田村委員、北山委員、猿渡委員、高橋（智）委員、島津委員）

事務局 3名

1 開会

2 議題

（1）夏季平和事業の振り返り【資料1-1、資料1-2、資料1-3】

・事務局より夏季平和事業のアンケート結果等について説明。

【委員】パネル展について、市役所で展示する際、看板があると良かったと思う。武蔵野プレイス1階ギャラリーでの展示では、B29による本土空襲は武蔵野市が初めてであることを知らない人が多いと感じた。武蔵野市の平和活動として主となる部分であるため、印象に残る広報活動ができればと思う。展示の内容については、当時、武蔵境から中島飛行機武蔵製作所の間にあった引き込み線に関する情報を入れたいと感じた。引き込み線の風景を映した写真がある、自宅にあるため追加していただくと印象に残るかと思う。また、東伏見に武蔵野市爆撃の慰霊碑があり、210名ほどの方が記載されている。ぜひその情報についても記載していただければと思う。

スバルのエンブレムは、戦後の中島飛行機武蔵製作所につながっているため、掲示できればと思う。

またSNSの活用について、ツイッター（現在「X」）でイベントを知った方がいた。私は、ツイッターに投稿したが、いいねやリツイートもしていただけている。今後、よりSNS発信をしていければと思う。

【委員】市役所ロビーでの展示に対する提案について、市役所では毎年、パネル展と場所が離れたショーウィンドウで戦争関連資料を延命寺からお借りして展示している。また、武蔵野プレイスで戦争関連資料を展示する場合は、人が常駐し管理する必要があるため、問題があると感じた。また、スバルのエンブレムを掲示する件については、反対である

【委員】スバルのエンブレムを掲示することは、現存する一営利企業の広報になってしまう。

【委員】東伏見の慰霊碑についてはどうか。

【委員】東伏見の情報を展示することは良いと思うが、スペースの確保が難しいかと思う。また、記録する会のパネルについては、内容を更新したいと考えている。

【事務局】市でも、市ホームページに記事をあげるとともに、ツイッター（現在「X」）やフェイスブックにも掲載している。

- 【委員】パネル展では、けやき会が常駐して内容の説明をしていたが、B29 の空襲に関する質問に答えることができなかった。原爆に関する説明はけやき会でできるが、中島飛行機武蔵製作所への空襲については、説明ができるように工夫ができればと思う。
- 【委員】以前、武蔵野プレイスで「ギャラリートーク」をしたことがある。時間を決めて説明をしたこともある。常駐することは、各々仕事をしているため、難しい。また、武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会の中でもパネル展で常駐し説明することについて、賛成と反対の意見があり、来庁者の中にも声をかけないでほしいという意見もある。今後も検討したいと思う。
- 【副委員長】時間を決めて常駐することはできるかと思う。
- 【委員】展示物を増やしていくとしたら、説明無しでも1人で見られるような環境を作る等の工夫も必要かと思う。
- 【委員】イベントの感想として、映画上映会は非常に良かったと思う。「この世界の片隅に」という作品は、何度も観ているが観るたびに発見があるため、素晴らしい作品だと思う。私は以前の実行委員会では、「ヒロシマへの誓いーサーロー節子とともにー」を推薦したが、今回の「この世界の片隅に」の上映会は良かったと感じている。また、コンサートでは、カテリーナさんとむさし野ジュニア合唱団「風」さん共に、歌も上手く、質も良かった。また吉祥寺駅南北自由通路はなこみちでの展示では、夏休みの自由研究課題の研究として、パネル展を観覧しにくる高校生がいた。今後、配布物として、子ども向けのリーフレットなどがあると良いと感じた。費用がかかるため難しいが、作成できればと思う。
- 【委員】「この世界の片隅に」は初めて観たが、主人公と年齢も近いこともあり、平和について考えさせられた。また、作品としては子どもに難しい内容だと感じた。音楽イベントを子ども向けのイベントとして想定していたが、子ども向け作品だと、どういったものが良いか考えたいと思う。
- 【委員】「この世界の片隅に」は、2・3回観ており、子どもには難しい内容だと感じるが、イベントとしては良かったと思う。平和を願うコンサートは、合唱も上手く良かったと思う。

## (2) 平和の日イベントについて【資料2】

・事務局より平和の日イベントについて説明。

【委員】イベント内で、他の事業の表彰等はないか。

【事務局】今年度は、長崎への派遣を行っていないため、報告会等は実施しない。

【委員】イベントの時間が13時30分から15時となっているが講演は1時間の予定か。

【事務局】講師には、最長で90分と聞いている。

【委員】15時終了は早いように感じる。短いのは良いが、もったいないとも感じる。

【委員】前は、16時までやっていた。挨拶も含めて15時30分まででできないか。

【事務局】冒頭に挨拶あり、質疑応答も含めて90分である。

【委員】イベント自体は、伸ばせるか。

【事務局】講師の出演時間が90分と決まっているが、イベント自体は伸ばすことは可

能である。前年度の平和の日イベントについては、13時30分から15時30分までとなっている。

- 【委員】平和の日イベントの時間については、調整していただければと思う。  
・平和の日イベントについて、話し合いの結果、司会は高橋（智）委員となった。

(3) 令和6年度憲法月間記念行事について【資料3】

- ・事務局より令和6年度憲法月間記念行事案について説明。

【事務局】講師について、年内には優先順位を決定し、交渉を開始したいと考えている。

【副委員長】推薦の余地があるが、講師の案はあるか。

【委員】憲法学者を呼ぶことについては賛成だが、イベントの参加者は高齢の方の割合が多いことが課題と感じている。令和4年度の平和の日イベントでは、サヘル・ローズさんをお呼びしたが、その際も高齢の方が多かった。誰を呼んでも年齢層は高くなってしまいうため、芸術や音楽など別の形での開催もありかと思う。過去に、平和の日イベントでクミコさんをお呼びし、テーマ性のある歌を歌っていただいた。憲法月間記念行事で憲法学者をお呼びすると、私たちは興味があるが、若い人には来ていただけないと思う。若い世代から認知されている人が、憲法について話すことは政治上難しさもあると思うが、若い世代に向けてイベントを考えていければと思う。「麦畑になれなかった屋根たち」の作家である、日本児童文学者協会理事長の藤田のぼるさんは良いかと思う。絵本作家などを呼べると、保育関係者や小学校の先生などは関心をもってくれる人もいるかと思う。年配の方にはなってしまうが、別の分野の方に依頼するのは良いかと思う。賛成や反対ではなく、憲法を重視する方に来ていただければと思う。松元ヒロさんなど芸能人も良いかと思う。

【副委員長】憲法月間記念行事といっても憲法の分野を超えて、他の視点でも開催できるのではないかという意見が出たが、どうか。

【委員】角野栄子さんの魔女の宅急便も児童文学である。

【委員】西久保保育園に行った際、保育士の方が、「平和ってなに？」を読んでいた。沖縄の子どもが書いた詩を絵本にした作品である。そういったものを研究してみても良いかと思う。

【副委員長】憲法月間記念行事の講師の選出については、広い見方で考えていければと思う。

【委員】過去に、憲法月間記念行事で映画上映会をやったことはあるのか。

【副委員長】宮本監督の映画を上映したことがある。

【委員】戦争映画を上映して、その作品に出演している俳優の方に、イベント出演を依頼するのはどうか。

【委員】せっかく憲法月間というイベントの開催であるため、専門的な知見からの話はあった方が良く考えている。また、若い世代や子どもにPRしやすいイベントが良いと思っており、先ほど絵本というキーワードが出たが、戦争に関する内容が含まれた、100年前の絵本など読み継がれている絵本について取り上げ、憲法学者に今の時代だとどういったところが守られているかなどをピックアップできれば、興味や学びを提供できると思う。

依頼する憲法学者の方にも準備をしていただく必要があるので、現実的に開

催できるかわからないが、ワークショップ的な形式で開催できれば違う層にもかかる部分もあるかなと思う。

【副委員長】 また、何か各自ご意見等あれば、事務局までお願いします。

(4) 平和施策のあり方懇談会について【資料4】

- ・事務局より令和5年度第1回平和施策のあり方懇談会の実施内容について説明。
- ・平和施策のあり方懇談会に出席した委員からもコメントをいただく。

【副委員長】 これからの平和施策にについて課題を見つけて、解決していくための方向を話し合っていきたい。実行委員会でも話に出ているが、平和について知らない人たちに対して知ってもらうことが課題だと感じている。また、事業については、様々な課が関わっているが、市役所内では一緒に進めていくことができていないことが多いと思うため、つなげていければと思う。PTAや青少年問題協議会は集客力もあるため、連携して相談しながら、新しい世代の方々に、新しい平和の伝え方ができればと思う。平和のあり方懇談会の委員は、馴染みのある方も多く、話しやすかった。より平和施策について、前に進めていければと思う。

【委員】 どういった方向で平和施策についてまとめるのか、考える必要があると感じている。先進的な自治体の取り組みや専門家である竹内委員の話を聞くことで、勉強になっている。今後は、体験のない人が語り部になる時代がくる。難しいことであるが、実際に東京都国立市や沖縄県ひめゆり平和祈念資料館で、若い世代が戦争について学び語り部をするといった取り組みがある。これは、平和の一つのあり方だと思う。一方、日常の中で考えるきっかけを作り、平和の理解を豊かにするためにはどうすべきか毎日考えていきたい。

【委員】 NHK「時論公論」という番組で、大震災や過去の出来事を伝承する方法として、「本人の話」、「本人からの聞き取り」、「本人の映像」の順で記憶に残るという結果が出ている。本人の映像より、人が話したことが大切であり、今後も語り部が必要だと感じている。

(5) その他

- ・事務局より平和の日イベント広報について報告
- ・次回の委員会は、10月27日(金)午後6時15分～ かたらいの道市民スペースで開催する。

3 閉会